

## 北関東信越ブロック大会（平成27年8月28日・栃木県：栃木県総合教育センター）

第46回北関東信越ブロック大会に先立って、幹事県の栃木県専修学校各種学校連合会の創立50周年記念式典が行われた。ブロック大会には約200名が出席。大会テーマは『「地方創生」専修学校各種学校の役割とは～地方創生に資する職業教育の質向上に向けた学校評価の充実を目指して～』。

全体会では、開会のことば、国歌斉唱に続き、専修学校制度制定40周年を記念して全専各連会長表彰、感謝状の授与が行われた。幹事県として栃木県の川島武美会長が歓迎の言葉をかねて開会のあいさつ、主催者を代表して中島利郎ブロック会長・群馬県会長があいさつを述べた。次いで、赤池誠章文部科学大臣政務官・参議院議員が、平成28年度文科省概算要求および職業実践的な教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する文科省の取組等を踏まえ祝辞を述べた。また、鈴木誠一栃木県副知事、佐藤栄一宇都宮市長、全専各連の小林光俊会長が来賓祝辞を述べ、祝電が披露され、全体会が終了。

基調講演は、一般社団法人Future Skills Project研究会の平山恭子事務局長が「未来を創る『主体的な学び』を实践する」をテーマに講演。大学と企業が連携した学生が主体的に学ぶためのプログラムの研究成果について報告が行われた。

小憩をはさみ、文科省専修学校教育振興室の白鳥綱重室長が専修学校関連施策について概況を報告、全専各連事務局から全専各連活動報告が行われ、あわせてブロック5県の行政報告がなされた。

大会決議は、入江吉晴栃木県理事が文案を読み上げ、全会一致で採択された。次期開催県が群馬県に決定、最後に川島栃木県会長が閉会にあたりあいさつを述べてすべての日程を終了した。

採択された大会決議は以下のとおり。

### 【大会決議】

今日、産業構造の変化やグローバル化に対応するため、経済発展の先導役となる産業分野等への人材移動を円滑に進めるとともに知識・技術・技能の高度化を図るための職業教育や職業訓練機会の充実が不可欠となっている。

専修学校各種学校は、社会の変化に対応して多様な職業教育を実施して各分野の専門的、技術的な知識及び技術を習得した人材を様々な産業界に送り出すとともに地域密着型の教育機関としての役割を果たしてきた。

そして、社会人がスキルアップを目指して学び直しするための教育機関として、専修学校各種学校に対する期待は高まっている。

本ブロック大会では、文部科学省と連携し実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化の早期実現を目指し推進する。

また、昨年4月スタートした「職業実践専門課程」認定制度による実践的職業教育の質保証等の事案を検証するとともに、会員校に対する本認定制度同州の周知・啓発活動を積極的に推進しあわせて本認定制度の社会的認知度向上を図る事を決議する。

### 記

1. 職業教育機関として社会のニーズに一層応えるよう、職業実践的な教育に特化した新たな高等教育機関創設を早期に実現すること。

2. 専修学校及び各種学校が教育機能を最大限発揮できるよう、他の学校種との制度的格差を是正するとともに同等の財政・税制面での公的支援を充実すること。特に学生生徒及び保護者の経済的負担を軽減して、多様な学習機会を保障するため、給付型奨学金制度の創設と授業料減免に対して支援すること。
3. 教育と学校運営の質の保証と向上を推進し、職業教育機関としての社会的責任及び使命を果たしていくため、「専修学校における学校評価ガイドライン」等に基づく学校評価の充実・徹底や教育活動などの情報を正確かつ広範に社会に発信していくよう努めること。

平成27年8月28日

全国専修学校各種学校総連合会

第46回北関東信越ブロック大会